

私は能登半島地震後の2月に羽咋市に設置された、被災者共同支援センターの事務局長として、全国から寄せられた支援物資を持って避難所や仮設住宅を訪問。被災者の苦難に寄り添って、政府に要望を届けてきました。この経験を生かし、くらし応援の県政にきりかえます。

1948年金沢市生まれ、金沢市在住/県立錦丘高校・静岡大学農学部卒業/城北病院入職、石川民医連事務局長などを歴任/介護支援専門員などの資格をもつ

県民の会
政策



黒梅あきら

無所属
日本共産党推薦

被災者支援 医療費免除再開

被災者の医療費・介護利用料免除が昨年6月末で打ち切れ、病院に行くのをためらう人が増えました。

国や県に対して、免除再開を求める署名が5万人を超え、議会請願も3市3町で採択されています。

災害関連死を防ぐためにも、医療費免除を再開させましょう。

- ▶復興公営住宅の家賃は、4年目以降も減免制度をつくります
- ▶介護事業所、小規模事業者の再建を支援し、住民が主体となった街づくりを
- ▶農林漁業で生活できるようにし、後継者を増やして能登の自然や文化を取り戻します



くらし応援の県政に

今の県政ここが問題

大型開発優先

- 6位 地方債発行（借金）
- 14位 土木費

くらし後回し

- 35位 社会福祉費
- 36位 民生費

物価高騰で、家計は大赤字です。

しかし、自民党県政は国言いなりで、“くらし後回し・大型開発優先”です。

くらし応援の県政へ、税金の使い方をきりかえます。

- ▶最賃時給1500円（月20万円）以上に引き上げへ、中小企業への県としての直接支援を充実します。
- ▶国民健康保険税（料）引き下げ。
- ▶県として中学校給食無償へ。小・中学30人学級を目指します。
- ▶ケア労働者の処遇改善をすすめ、医療機関・介護事業所への支援を強化します。
- ▶補聴器購入助成、精神障害2級の方へ医療費助成を行います。
- ▶女性の声を政策に反映するなどあらゆる面でジェンダー平等を。

総務省統計局調査より、前知事の2021年度対歳出決算総額における割合

志賀原発なくそう

避難できず、敷地内に「推定活断層」。再エネ・省エネ政策を推進し、新たな産業と雇用を増やします。

- 消費税5%減税、インボイス廃止を国に求めます
- 高市政権の軍拡ストップ

自民党政治の“戦争する国づくり”にきっぱり反対し、小松基地の軍事力増強をやめさせます。